

Minitab Connect[®]の使い始め

目次

1 概要	3
Minitab Connect ツール	3
ストーリー	4
2 分析のためにデータを準備しましょう	5
データのカスタムビューを作成する	5
ビューのエクスポートをメールで送信してください	8
3 データを取り入れましょう Minitab Connect	10
新しいテーブルを追加する	10
新しいフォームを追加する	13
接続を作成し、データのインポートをスケジュールします	14
データフローを修正する	16
4 データを外部アプリケーションにプッシュ・プルする	18
Minitab® のワークシートをエクスポートする	18
FTPおよびSFTPコネクタ	18
Minitab Model Opsへの接続を作成する	19
5 カスタムグラフでデータを表示する	21
新しいグラフを作成する	21
スプラインチャートを修正する	22
グラフオプションの利用	26
ビューを使って、データのサブセットを含むグラフを作成します	27
6 ダッシュボードでデータをインポートして共有する	30
ダッシュボードを作成する	30
ダッシュボードにスライサーを追加しましょう	31
ダッシュボードを共有する	31
索引	32

1. 概要

Minitab Connect®の入門ガイドでは、Minitab Connectで最も一般的な機能やタスクのいくつかを紹介しています。このガイドを使用して、以下のタスクを完了する方法を学習します。

- データのカスタムビューを作成する
- データのエクスポートを作成して送信します
- 新しいテーブルを追加する
- 新しいフォームを追加する
- 外部データソースと接続してください
- スケジュールデータのインポート
- データフローを修正する
- 他のアプリケーションへのデータエクスポート
- データを可視化する
- 分析結果を共有するダッシュボードを作成しましょう

Minitab Connect ツール

Minitab Connect 強力なツールのコレクションですこれにより、データをプラットフォームに取り込み、データをクリーンアップし、分析のために準備できます。また、データの可視化を作成でき、他のアプリケーションと簡単にファイルを共有できます。Minitab Connect の各ツールは特定の役割を果たしますが、すべてのツールがシームレスに連携し、データや分析への迅速かつ柔軟なアクセスを可能にします。

Minitab Connect データを管理、保存、クリーンアップするための3つのコアツールが含まれています。

[底] ツール



[底] ツールプラットフォームに出入りするデータを中央集権型のデータウェアハウスに保存します。**[底]** ツールを使って、統合されたすべてのデータリソースに即時にアクセスし、データの品質、整合性、セキュリティをリスクなく管理できます。

[フロー] ツール



[フロー] ツールを使えばプラットフォームを通じてデータを流すために。データは設定した接続を通じて自動または手動で流れ出します。**[フロー]** ツールを使えば、手動でのデータ整理作業を省き、異なるソースやプラットフォーム間でのデータの移動を自動化できます。Minitab Connect 数百の既存コネクタや統合を含み、自分で作成することもできます。

[準備] ツール



を使用します。**[準備]** データを簡単に閲覧・照会できるように。また、**[準備]** は指定したプロセスに基づくデータのクリーンアップや集約にも活用してください。準備ルーチンを一度設定すれば、すべてのデータが適切に処理されます。

Minitab Connect また、データの可視化や要約のためのツールも含まれています:

[視覚化] ツール



[視覚化] ツールを使えばデータをグラフ化し、組織内の同僚とダッシュボードを共有すること。

[監査] ツール



[監査] ツール表の概要を表示します。**[監査]** ツールを使って、サイズ、フィールド、フロー、ビュー、プロセス、そしてデータテーブルの一般的な情報を簡単に確認できます。

ストーリー

オンライン書籍ダウンロードを販売する企業は、ターゲット層を理解し、オンライン書籍の売上を伸ばすために大量のデータを収集します。

*Minitab Connect®の入門 ガイド*では、この架空の企業のデータを分析しながら Minitab Connectの使い方を学びます。Minitab Connect は大規模かつ複雑なデータセットを扱える強力なプラットフォームですが、例は一般的にプラットフォームの機能を簡単に説明しています。

注： この例の主なデータセットはMinitab Datasetライブラリにあります。このデータセットを開く手順はセクション [既存のデータファイルから Minitab Connect テーブルにデータをインポートする](#)（5ページ）にあります。

章を順番に読むことも、興味のある章に飛ばしても構いません。重点分野には、データセットの開放、新しいテーブルやフォームの作成、接続の作成、データの可視化、結果の報告が含まれます。

ヒント： このガイドの例から表やグラフを保存する際に、自分でフォルダを作成するのが役立つかもしれません。または、プラットフォーム上の他のユーザーに上書きされないように、ユニークな名前を使うこともできます。

1. 分析のためにデータを準備しましょう

多くの場合、データ分析の最初のステップはデータを準備することです。多くの場合、データが多すぎたり、フォーマットが誤っていたりします。関心のある変数に焦点を当てるためにデータをクリーン化し、細分化することが重要です。 **[準備]** ツールを使い以下のことをする:

- データを簡単に探索できるカスタムデータビューを作成します
- カスタムデータ準備の設計と実行
- データレポートのエクスポート

データのカスタムビューを作成する

カスタムビューを作成できますあなたのデータに集中できるように、興味のある分野に集中できるようにしましょう。各データテーブルには、保存して名前を付けることができる複数のビューを含めることができます。これらの見解プラットフォーム全体でデータ報告や分析を容易にするために利用できます。ビューは実際のデータを変えるのではなく、データの表示を変えるだけです。いつでも選択可能です **[設定をリセット]** の表のすべてのデータを見るために。

この例では、マーケティングアナリストが日々の売上データを収集します。カテゴリごとのダウンロード数の日々の内訳に焦点を当てるために、マーケティングアナリストは関心のある変数のみを含む新しいデータビューを作成します。

既存のデータファイルから Minitab Connect テーブルにデータをインポートする

まず、マーケティングアナリストがデータをインポートしますMicrosoft Excel(.xlsx)ファイルから新しい Minitab Connect テーブルへと変換します。ファイルがインポートされた後、Minitab Connect 内のデータは元のデータファイルとは独立しています。したがって、一方の変更はもう一方に影響を与えません。標準テーブルを作成するには、以下の指示に従ってください既存のデータファイルから。

1. **[ホーム]** 画面より  **[Minitab Connect]** ボタンを選んでください  **[ナビゲーション]** のガラスを開けるために。で **[表]**、を選択します **[新しいテーブルを追加]**。
または **[ホーム]** 画面から **[表]** の **[追加]** ボタンを選択します。

2. **[データセット]** タブで、以下の入力を入力してください:
 - a. **[名前]**の下に オンラインダウンロード と入力すると新しいテーブルが指定されます。
 - b. **[フォルダ]**の中からプラスボタンを選択して新しいフォルダを作成します。

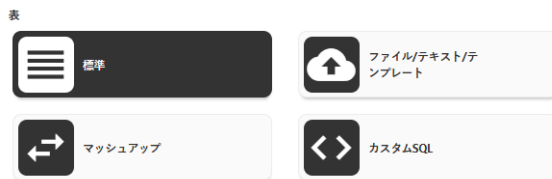


ヒント: このガイドの例から表やグラフを保存する際に、自分でフォルダを作成するのが役立つかもしれません。または、プラットフォーム上の他のユーザーに書きされないようにユニークな名前を使うこともできます。

- c. **[名前]**の下に「Download Data」を入力して、新しいテーブルを格納するフォルダ名を付けます。
 - d. **[親]**の下で /(root) をキープして、Minitab Connectのルートレベルで新しいフォルダを作成します。
あるいは、別の場所に移動して新しいフォルダを作成することもできます。
 - e. **[作成]**を選択します。
 - f. で **[ステータス]**、 を選択します **[開発]**。

また、データセットを説明するのに役立つオプションフィールドを入力することもできます。

3. **[表]** ギャラリーから **[ファイル/テキスト/テンプレート]**を選択します。



4. **[インポートタイプ]**の下から **[ファイル]** アイコンを選択してください。そして自分のファイルに目を向けてください。
この例では、Minitabデータセットライブラリの **オンラインダウンロードデータ**にあるデータセットを使用します。
5. 選ぶ **[保存]** .

テーブルを保存すると、ツール **[準備]**  開く。を選択します**[設定をリセット]**  データを閲覧するために。

注: **[通知]** を選択し、 **[問題]**  データの問題を表示するボタン。例えば、データが正しくインポートされているかどうかを確認できます。

フィールド

フィルター

並び替え

保存

フィールドを追加

すべてのフィールドを追加

すべてのフィールドを削除

顧客ID

I

🗕

🗖

領域

I

🗕

🗖

生年月

I

🗕

🗖

年齢

I

🗕

🗖

婚姻状況

I

🗕

🗖

学歴

I

🗕

🗖

収入

I

🗕

🗖

会員登録日

I

🗕

🗖

購入日

I

🗕

🗖

ジャンル

I

🗕

🗖

顧客ID	領域	生年月	年齢	婚姻状況	学歴
9347		1	1969	51 単一	大学
4971		1	1966	54 単一	大学
6609		3	1977	43 パートナー	大学
5120		1	1996	24 パートナー	大学
8029		4	1993	27 パートナー	大学
1065		2	1979	41 パートナー	マスター
1381		1	1983	37 離婚	大学
3517		2	1997	23 単一	高校時代
11101		4	1986	34 パートナー	博士号取得
2570		1	1962	58 パートナー	博士号取得
2281		3	1995	25 既婚	大学
6613		3	1988	32 既婚	GED
3717		6	1971	49 離婚	大学

データの保存ビューを作成する

これらの指示に従って保存済みビューを作成しますデータセット全体のものを。

1. **[準備]** ツールを開いてください .
2. 選ぶ **[保存]** .
3. で **[ビュー]**、を選択します **[新しいビュー]**。 **[名前]**の欄で オンラインダウンロード と入力して新しいビューを指定してください。
4. **[保存]**を選択します。

これで「オンラインダウンロード」という保存されたビューがあり、そこには全データセットが含まれています。いつでも追加のビューを作成できます。次に、特定の関心分野のみを含むビューを作成します。

データの要約ビューを作成しましょう

アナリストは関心分野を指定します。アナリストはジャンルと購入日別のダウンロード総数の要約を求めるため、これらのフィールドと Minitab Connectが作成したシステムフィールドの一つでビューを作成します。

注： すべてのデータテーブルには4つのシステムフィールドが含まれていますこれらはデータの特定を助けるために Minitab Connectによって作成されます。システムフィールドは削除できませんが、ビューに追加しない限り表示されません。

以下の指示に従って要約ビューを作成しますデータのことで。

1. **[フィールド]** タブで **[すべてのフィールドを削除]** を選択し、空のフィールドリストから始めます。
列数によっては、フィールドの追加や削除が簡単な場合があります。
2. **[フィールドを追加]** を選択し、追加するフィールドを選択します。
この例では、購入日 と ジャンルを加えます。
この例では、System(システム)も追加する必要があります: ID(各レコードごとに一意のIDです)。
3. システム内: IDを選んでください。 **[ビュー]**  ボタン。
4. **[準備を追加]** ドロップダウンは自動的に開くはずです。 **[カウント]** を選択します。
この例では、アナリストは各ジャンルの要約を1日ごとに求めます。

5. 選ぶ **[保存]**。
6. で **[ビュー]**、を選択します **[新しいビュー]**。 **[名前]**の下に「デイリージャンルサマリー」を入力して新しいビューを特定してください。
7. **[保存]**を選択します。

これで「Daily Genre Summary」という保存されたビューがあり、Minitab Connect プラットフォーム全体でサマリーデータを閲覧できます。

フィールド	フィルター	並べ替え	保存		購入日	ジャンル	System: ID
保存を検索...				☐	2020/08/31	SF	4
デフォルトの保存を表示				☐	2020/08/31	フィクション	6
🔍 日々ジャンル概要				☐	2020/08/31	経歴	5
				☐	2020/08/31	ノンフィクション	9
				☐	2020/08/31	ファンタジー	3
				☐	2020/08/31	謎	5
				☐	2020/08/31	ドラマ	6
				☐	2020/08/31	詩	2
				☐	2020/09/01	ノンフィクション	8
				☐	2020/09/01	経歴	10
				☐	2020/09/01	フィクション	12
				☐	2020/09/01	ファンタジー	11
				☐	2020/09/01	SF	6
				☐	2020/09/01	謎	10
				☐	2020/09/01	詩	9
				☐	2020/09/01	ドラマ	7

ConnectはシステムIDで結果を並べ替えます。**[カウント]**や**[和]**などの集計データ作成を追加すると、Connectは各グループを最大のシステムIDでソートします。**[並べ替え]**タブを使って並べ替え順を変更してください。

ヒント: システムフィールドの名前をより意味のある名前に変えるのが役立つかもしれません。**[フィールド]**タブから変更したい名前をハイライトし、新しい名前を入力してください。

CAMPO(S)	FILTRO(S)	ORDENAÇÃO...	SALVAMENT...		購買日	風格	System: ID
Adicionar um campo				☐	31/08/2020	科幻	4
Adicionar todos os campos				☐	31/08/2020	虚构作品	6
🔍 購買日				☐	31/08/2020	传记	5
🔍 風格				☐	31/08/2020	非虚构作品	9
🔍 总下载量				☐	31/08/2020	幻想	3
				☐	31/08/2020	谜团	5

この例では、総ダウンロード数がより説明的です。

いつでも他のビューを作成できます。開けて**[監査]** ツール  アクティブなテーブルのすべてのビュー一覧を見ることができます。

ビューのエクスポートをメールで送信してください

ビューが作成された後、データをエクスポートできますこの視点から他の人と共有したいと考えています。この例では、マーケティングアナリストが日々の要約をメールでマーケティングチームに送信します。これらの指示に従って、データビューのエクスポートを作成します。

1. **[準備]** ツールから 、**[エクスポート]** ボタンを選んでください .

2. **[データをエクスポート]** ダイアログボックスに以下の入力を入力してください:
 - a. で **[エクスポート]**、を選択します **[ニュー・エクスポート]**。
 - b. **[名前]**欄に「Daily Genre Export」を入力してください。
 - c. **[ビュー]**の「デイリージャンル概要」を選択してエクスポートするビューを選択します。
 - d. で **[配送]**、を選択します **[メール - 添付ファイル]**。

また、メールをインライン添付ファイルとして送ることも可能です。

注： Connectからメールで情報を送る際は、**[PGP / GPG暗号化]** ドロップダウンからメール暗号化オプションを選択することが推奨されます。

3. **[配送]** タブで以下の入力を入力してください:
 - a. **[メール宛先]**欄でメールアドレスを入力してください、輸出の受領者に対してコンマで区切られています。封筒アイコンを選択してください  フィールドにメールアドレスを入力する。
 - b. **[メールの件名]**欄にメールの件名ヘッダーを入力してください。

この例では、他のデフォルト設定をそのままにしてください。また、エクスポートの説明に役立つオプションフィールドも入力できます。

4. **[保存]**を選択します。
5. **[実行]**を選択します。

これで「Daily Genre Export」という保存済みのエクスポート機能があり、Minitab Connect プラットフォーム全体で要約データをエクスポートできます。他のエクスポートはいつでも作成できます。

開けて**[監査]** ツール  作成した準備済みのビューとエクスポートを元のデータに加えて見ることができます。

 一般情報	^
 レコード監査: 1	^
 フィールド: 32	^
 準備済みビュー: 1	^
 エクスポート: 1	^

現在、このテーブルには32フィールド、1つの準備済みビュー、1つのエクスポートがあります。各セクションを展開すると、詳細が見られます。

2. データを取り入れましょう Minitab Connect

Minitab Connect が使用するすべてのデータはテーブル内に格納されます。Minitab Connect テーブルにデータを追加する方法はいくつかあります。

- 標準的なテーブルを作成し、手動でデータを入力します
- データを一度きり、または指定した頻度でインポートするための接続を作成します
- 既存のデータセットからデータを取得するためにカスタムSQLを使う
- ファイルからのインポート
- 2つ以上の既存のデータセットを組み合わせること

新しいテーブルを追加する

この例では、カスタマーサービス担当者が標準テーブルに顧客苦情データを入力します。担当者は電話で話すか、オンラインで顧客と懸念事項を伝えます。

指定されたフィールドを含む標準テーブルを作成します

まず、カスタマー担当者が標準テーブルを作成します必要な項目を揃えて。この簡単な例では、カスタマー担当者が日付、顧客ID、顧客地域、問題の種類を収集します。これらの指示に従って、手動データ入力用の標準テーブルを作成します。

1. **[ホーム]** 画面より 、**[Minitab Connect]** ボタンを選んでください **[ナビゲーション]** のガラスを開けるために、で **[表]**、 を選択します **[新しいテーブルを追加]**。
または **[ホーム]** 画面から **[表]** の **[追加]** ボタンを選択します。
2. **[データセット]** タブで、以下の入力を入力してください:
 - a. **[名前]**の中に「Download Issues」と入力すると新しいテーブルが特定されます。
 - b. **[フォルダ]**の中からプラスボタンを選択して新しいフォルダを作成します。



- c. **[名前]**の下に「Customer Team」を入力し、新しいテーブルを格納するフォルダ名を付けます。
 - d. **[親]**のまま/ (root) をキープして、ルートレベルで新しいフォルダを作成します。
あるいは、別の場所に移動して新しいフォルダを作成することもできます。
 - e. **[作成]**を選択します。
 - f. で **[ステータス]**、 を選択します **[開発]**。
また、データセットを説明するのに役立つオプションフィールドを入力することもできます。
3. で **[表]**、 を選択します **[標準]**。

4. **[設定]** タブで、テーブル内の各変数ごとに新しいフィールドを追加します。
[クリックしてフィールドを追加します。] データ入力フィールドを開きます。

- [フィールド名]** で日付を入力します。
- で **[タイプ]**、 を選択します **[日付]**。
- 下矢印を選択してください。このフィールドを拡張するためにボックスの下部に設置します。で **[形式]**、 を選択します **[日付]**。

また、データセットを説明するのに役立つオプションフィールドを入力することもできます。

5. 顧客ID、顧客地域、問題についてステップ#4を繰り返します。
 顧客ID と 顧客地域 フィールドは数値で、問題 フィールドはテキストです。

注: **[テキスト]** および **[数]** フィールドでは、デフォルトの長さは通常十分ですが、必要に応じて増減も可能です。

6. 選ぶ **[保存]** .

テーブルを保存するとき、**[準備]** ツール  開いてからテーブルにデータを追加できます。

レコードなし

この表にはあなたが追加した4つのフィールドがあります。このリストの上部にある **[フィールドを追加]** を選択して、システムフィールドのいずれかをこのビューに追加してください。

注: 1つのグラフダイアログボックスで複数の変数（散布図の場合は複数の変数ペア）を入力した場合は、**[底]** ツール  このテーブルにさらに多くのデータフィールドを追加するために。

変数のリストフィールドを作成する

次のセクション **新しいフォームを追加する** (13ページ) では、カスタマーサービスチームがデータを収集するフォームを作成します。チームは顧客地域と問題タイプに対して標準値を使いたいため、アナリストはリストを指定しますこれらのフィールドがデータ収集フォームのドロップダウンリストを作成するために。

以下の指示に従って、顧客の地域や発行人品のドロップダウンリストを作成してください。

- 開けて **[底]** ツール .

2. **[設定]** タブで「カスタマーリージョン」フィールドを展開します。
 - a. **[タイプ]** を **[数]** から **[リスト]** に変更してください。
 - b. で **[Format]**、 を選択します **[ドロップダウン]**。
 - c. で **[値の型]**、 を選択します **[ユーザーが入力しました]**。
 - d. **[値]** の下に 1、2、3、4、5、6、7 を入力してください。エントリーの間はEnterキーを押して、各号を別々の行にまとめてください。

フィールド名* タイプ*

顧客地域 リスト ▼

説明

形式*

ドロップダウン ▼

長さ*

50

リンク済み

いいえ ▼

値の型

ユーザーが入力しました ▼

値

1
2

3. 問題発生のためにステップ#2を繰り返します。
 - a. **[タイプ]** を **[テキスト]** から **[リスト]** に変更してください。
 - b. **[形式]** で、 **[ドロップダウン]** を選択します。
 - c. **[値の型]** で、 **[ユーザーが入力しました]** を選択します。
 - d. **[値]** の下に ブラウザ」「不正請求」「誤ったリンク」「返品」「その他」と入力します。エントリーの間はEnterキーを押して、各号を別々の行にまとめてください。
4. 選ぶ **[保存]** .

新しいテーブルにデータを追加する

次に、アナリストはテーブルにデータを入力します。

1. **[準備]** ツールを開いてください .
2. 選ぶ **[追加]**  そして、望ましいフィールドを埋める。
3. **[提出]** を選択して記録をテーブルに追加してください。
4. 複数のレコードを同時にインポートしたい場合は、 **[インポート]**  ボタン。
 - **[タイプ]** の **[テキスト]** を選択して複数のレコードを同時にコピー&ペーストします。
 - **[タイプ]** の中から **[ファイル]** を選択して、すべてのレコードを含むファイルをインポートします。

新しいフォームを追加する

前回のセクションでは、カスタマー担当者が必要な項目を含む標準テーブルを作成しました。しかし、カスタマーサービスチーム全体がデータ収集の標準化を図る必要があるため、全チームメンバーがアクセスできるフォームを作成することにしました。

[フォーム] ツールを使うことができますカスタマイズされたフォームを設計することデータ入力エラーを最小限に抑えるためにユーザー固有の指示が付いています。データエントリは対応するデータテーブルに格納されます。

この例では、日付、顧客ID、顧客地域、問題の種類を収集するフォームを作成します。手動データ入力用の新しいフォームを作成するには、以下の指示に従ってください。

1. **[ナビゲーション]** ガラスに行け。で **[フォーム]**、 を選択します **[新しいフォームを追加]**。

2. **[情報]** タブで、以下の入力を入力してください:

a. **[名前]** の欄に「問題のダウンロードフォーム」を入力してください。

b. **[テーブル]** の「Issueをダウンロード」を選択してください。

Minitab Connect テーブルからフォームを生成するときこのフィールドを埋めます。

c. で **[タイプ]**、 を選択します **[単一]**。

d. で **[デフォルトのフレーム設定]**、 を選択します **[外部]**。

この例では、他のデフォルト設定をそのままにしてください。また、フォームを説明するのに役立つオプション欄も入力できます。

3. **[要素を追加]** を選択します。

この例では、日付、顧客ID、顧客地域、問題の種類などの要素を追加してください。

4. **[タイプ]** の中から 日付を選択してください。で **[オプション]**、 を選択します **[必須]**。

5. **[追加]** を選択して 日付 要素を保存してください。

6. **[要素を追加]** を選択します。 **[タイプ]** 欄で 顧客IDを選択してください。で **[オプション]**、 を選択します **[必須]**。

7. **[追加]** を選択して 顧客ID 要素を保存してください。

8. **[要素を追加]** を選択します。 **[タイプ]** の欄で カスタマーリージョン」を選択し、以下の項目を入力してください:

a. **[ヘルプテキスト]** の下に、顧客地域を表す1から7までの整数を入力してください。

この指示はフォームに表示されます。

b. で **[オプション]**、 を選択します **[必須]**。

9. **[追加]** を選択して 顧客地域 要素を保存してください。

10. **[要素を追加]** を選択します。 **[タイプ]** の「課題」を選択し、以下を入力してください:

a. **[ヘルプテキスト]** の下に、苦情理由を入力してください: ブラウザ、誤った請求、誤ったリンク、返品、その他。

この指示はフォームに表示されます。

b. で **[オプション]**、 を選択します **[必須]**。

11. **[追加]** を選択して Issue 要素を保存してください。

12. 選ぶ **[保存]** 形を救うために。

ヒント： 新しいフォームを作成するもう一つの方法は、**[フロー]** ツールを使うことです。 **[入力]** タブでプラスボタンを選択してください。 新しいフォームを追加する **[フォーム]** の隣に。上記の手順に従うことができます。

フォームを保存するときに、 **[フォーム]** と **[フォーム (ベース)]**。

日付*

日付

顧客ID*

顧客ID

顧客地域*

顧客地域

顧客地域を表すために、1から7の数字を入力してください。

問題*

問題

苦痛の理由を入力してください：ブラウザ、請求の誤り、リンクの誤り、返品、またはその他。

クリア 提出

[フォーム] ツールを使え データを入力するために。

情報	キー
名前*	
ダウンロード問題フォーム	
テーブル*	
ダウンロードの問題	
テーマ	
なし	
タイプ*	
単一	

要素リスト

要素を検索...

+ 要素を追加

を使用します。 **[フォーム (ベース)]** フォームを更新してください。

接続を作成し、データのインポートをスケジュールします

この例では、マーケティングアナリストが重要なデータを含むデータベースへの接続を作成します。この接続が確立された後、アナリストは同じ接続を使って追加のデータを取得できます。データインポート用の接続を作成するには、以下の指示に従ってください。

つながりを作る

Minitab Connect 数百種類のコネクタを提供していますそれによって、データをプラットフォームに取り込むことができます。この例はデータベースへの接続方法を示しています。具体的な手順は選ぶコネクタによって異なります。特定のMinitab Connectコネクタについての詳細は「[Connections](#)」をご覧ください。

- [ホーム]** 画面より **[Minitab Connect]** ボタンを選んでください。 **[ナビゲーション]** のガラスを開けるために。で **[表]**、 を選択します **[新しいテーブルを追加]**。
または **[ホーム]** 画面から **[表]** の **[追加]** ボタンを選択します。
- [データセット]** タブの **[データセット]** で MySQL または作成したい接続を検索してください。

3. **[設定]** タブで、以下の入力を入力してください:
 - a. **[名前]**の下に、テーブルを識別する名前を入力してください。
 - b. **[フォルダ]**の下で、テーブルを格納するフォルダを選択するか、新しいフォルダを作成します。
 - c. **[ステータス]**で、テーブルが開発中か本番かを選択します。また、データセットを説明するのに役立つオプションフィールドを入力することもできます。
4. **[接続設定]**の **[接続]** から **[新しい接続]** を選択し、接続を特定する **[名前]** を入力してください。
5. **[設定]**の下に **[ホスト名]** を入力し、 **[ポート]**。
6. **[次へ]**を選択します。
7. **[設定]**の下に **[ユーザー名]** を入力し、 **[パスワード]**。
データベースのユーザー名とパスワードがわからない場合は、IT部門に連絡してください。
8. **[次へ]**を選択します。
9. **[設定]**の欄でデータベースを選択してください。
10. **[保存]**を選択します。

これでアナリストはこの接続を使ってデータを取得できます。**[ナビゲーション]** ペインの **[システム] > [接続]**の下から、現在設定されているすべてのデータ接続を見ることができます。

スケジュールデータのインポート

次に、アナリストはデータベースデータをどのくらいの頻度で取得するかを指定します。異なる種類のコネクタからデータをインポートすると、手順が異なります。

1. **[接続]**でデータをインポートする場所を選択します。
2. **[更新頻度]**から、データプルをどれくらいの頻度でインポートするかを選択します。
3. **[設定]** タブで **[プルのタイプ]**を選択し、次に **[次へ]**を選択します。
 - **[単一表]** 1つのテーブルからデータを取得するために
 - **[複数]** 複数のテーブルからデータを取得するために
 - **[すべて]** すべてのデータソースからデータを取得するためにこの例では、アナリストは **[単一表]**を選択します。**[複数]** または **[すべて]**を選ぶ場合は、使用する他のデータソースを指定する必要があります。
4. **[設定]**では、自分のSQLを使うかどうかを指定できます。**[SQLにスキップ]**で、次のいずれかを選択します。
 - **[いいえ]** デフォルトのセットアップ手順を使うために。ステップバイステップのプロセスが選択肢を案内します。
 - **[はい]** SQLに慣れていて自分でコードを入力したいなら、
5. **[テーブル]**の中からデータを含むテーブルを選択し、 **[次へ]**を選択します。
6. **[設定]**の中でデータフィールドを選択し、次に **[次へ]**を選択します。
7. **[設定]**の下にフィルターを追加し、 **[次へ]**を選択します。
例えば、日付範囲を指定する場合、日付フィルターを 入力できます。
8. 選ぶ **[保存]**  データプルを実行するために。

テーブルを保存すると、ツール **[準備]**  開く。通知を表示することで、データが正しくインポートされているか確認できます。を選択します **[設定をリセット]**  データを見るために。

データフローを修正する

この例では、マーケティングアナリストが週次データを生成しますが、そのデータを日々再スケジュールし流れさせたいと考えています。データフロースケジュールを変更するには、以下の指示に従ってください。

データスケジュールを修正してください

この例は、週次データから日次データへのスケジュール変更を示しています。具体的な手順は、選択したフロートリガーの種類によって異なります。

1. 開けて **[フロー]** ツール .
2. 既存のスケジュールされたフローを選択して **[フロートリガーを変更]** ダイアログボックスを開きます。
3. **[タイプ]** で、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **[手動]** リクエストがあればプロセスを実行します。
 - **[スケジュール済み]** スケジュールで指定された通りにプロセスを実行します。
 - **[データイベント]** 新しいデータが挿入または更新されたり、古いデータが削除されたりしたときにこのプロセスを実行します。
 - **[フォーム提出]** フォームが提出されたときにプロセスを実行します。
 - **[フロー完了]** 複数のデータフローを連結できます。例えば、**[フロー完了]** を使ってフロー1の後にフロー2を実行したり、異なるデータセットのフローを使うことができます。
4. この例では、アナリストは **[スケジュール済み]** を選択します。
5. **[度数]** の **[日次]** を選択し、時間と開始・終了日を指定します。
6. **[保存]** を選択します。

フロートリガーを変更 ×

タイプ*
スケジュール済み ▼

度数*
週次 ▼

時/分*
 0:00

曜日*
日曜日 ▼

タイムゾーン*
(UTC-05:00) 東部標準時(米国およびカナダ) ▼

開始日
 2026/03/01

終了日
 2026/03/27

閉じる OK

スケジュールされたフローの詳細は必要に応じて入力できます。

既存のフローに新しいフローを追加する

日次のデータプルに加え、マーケティングアナリストは日次サマリーエクスポートもフローに追加したいと考えています。具体的な手順は、選択したフロートリガーの種類によって異なります。

この例は、既存のフローに新しいフロー項目を追加する方法を示しています。

1. 開けて**[フロー]** ツール .
2. 既存のスケジュールフローの中に「**[新しいフロー項目]**」ボタンを選択します。
3. **[名前]**の下に「デイリーレポート」を入力して新しいフロー項目に名前を付けます。
4. で **[タイプ]**、を選択します **[エクスポート]**。
5. **[エクスポート]**の「デイリージャンルエクスポート」を選択してください。
6. 新しいフロー項目を保存するには **[OK]** を選択してください。

フローを保存すると、新しいフロー項目が追加されます。これで保存されたフローがあり、データを取得し、エクスポートを作成し、毎日まとめデータをメールで送信します。



3. データを外部アプリケーションにプッシュ・プルする

Minitab Connect を使えば、準備したデータをさまざまなアプリケーションにプッシュまたはプルできます。簡単なエクスポートでデータをプッシュできます。外部アプリケーションから接続を設定してデータをインポートすることでデータを取り込めますMinitab Connectに。

Minitab® のワークシートをエクスポートする

Minitab Connect Minitab® Statistical Softwareなど、他のアプリケーションに準備済みデータをエクスポートする方法を提供します。

- 詳細分析のためのMinitab®ワークシート(MWX)を作成するには、**[Minitabにエクスポート]** ボタンを選択してください  **[準備]** ツールから。
- 他のフォーマットに書き出すには、**[エクスポート]** ボタンを選択してください .

FTPおよびSFTPコネクタ

サーバーと Minitab Connect間でファイルを通信・転送するには、ファイル転送プロトコル(FTP)またはセキュアファイル転送プロトコル(SFTP)を使用します。サーバーがファイルにアクセスしてConnectにインポートするにはユーザー名とパスワードが必要です。SFTPコネクタの場合は、ユーザー名やパスワードの代わりにSecure Shell(SSH)キーを使うこともできます。

SFTPとFTPの両方のコネクタはConnectと同様の方法で操作します。しかし、SFTP接続はFTP接続よりも高いセキュリティを提供します。

新しい接続を設定してください

Minitab Connectで接続を設定するには以下の手順を踏みます。

1. **[ホーム]** 画面から **[表]** の **[追加]** ボタンを選択します。
2. テーブルを識別する **[名前]** を入力し、保存する **[フォルダ]** を選択します。
3. **[データセット]** で FTP または SFTP を入力し、結果から適切なコネクタを選択します。
4. **[設定]** タブで、以下の入力を入力してください:
 - **[Beacon]** で、複数のビーコンがある場合、どのビコンを通すかを指定します。通常はデフォルトの方が一番うまく機能します。
 - **[FTPホスト]** または **[SFTPホスト]** の下にサーバーのホストを入力します。
 - **[SFTPポート]** の場合は、通常ポート22を使います。
 - FTP接続を使う場合は、サーバーの **[ユーザー名]** を入力して、**[パスワード]** する必要があります。データベースのユーザー名とパスワードがわからない場合は、IT部門に連絡してください。
5. **[次へ]** を選択します。
6. SFTP接続の場合、**[認証方法]** を使ってパスワードでサーバーを認証するかSSHキーで認証するかを選択します。SSHキーを使う場合、Connectは固有の公開鍵を作成し、それをSFTPサーバーの認可鍵に追加する必要があります。

7. **[FTPパス]** または **[SFTPパス]**の下に、接続への経路を入力します。パス名は必ずバックスラッシュ(\)で終わらせなければなりません。サブフォルダに接続したい場合は、既存のサブフォルダへのパスを入力します。ルートフォルダに接続するためにバックスラッシュを一つ残します。
8. **[次へ]**を選択します。Connectはサーバーと通信し、認証情報やディレクトリの有効性を確認します。接続が成功すると、Connectはサーバー上にあるファイルやフォルダのリストを表示します。
9. 選ぶ **[保存]** .

ファイルを接続にエクスポートする

Minitab Connectテーブルからデータをエクスポートするには、以下の手順を完了してください。

1. **[フロー]** ツールの **[出力]** タブを開きます .
2. プラス記号を選んでください  新しいエクスポートを **[エクスポート]** する以外に。
3. **[エクスポート]** から **[ニュー・エクスポート]** を選択してサーバーへのエクスポートを設定します。 **[ワンタイムダウンロード]**を選択すると、Connectはファイルをパソコンにダウンロードし、エクスポートは作成しません。
4. エクスポート用の **[名前]** を入力します。
5. **[ビュー]**の欄で、テーブルの保存済みビューを選択します。 **[なし]**を選択すると、Connectはテーブルからすべてのデータをエクスポートします。
6. で **[配送]**、 を選択します **[接続]**。
7. **[接続]**の中に、以前設定したFTPまたはSFTP接続を選択します。
8. **[Delivery]** 列の **[FTPパス]** または **[SFTPパス]** の下に、ファイルを保存するパスを入力します。パス名は必ずバックスラッシュ(\)で終わらせなければなりません。サブフォルダにエクスポートしたい場合は、既存のサブフォルダへのパスを入力します。ルートフォルダにエクスポートするために、バックスラッシュを一本残してください。

ファイル形式やファイル名、その他のオプションも指定できます。エクスポートを保存した後、Connectは **[出力]** タブのエクスポートリストに追加します。選ぶ **[実行]**  エクスポートを実行するために。

Minitab Model Opsへの接続を作成する

Minitab Model Opsは、さまざまな高度なモデルを使って予測を行う機能 ^{を提供します。®} テーブルにレコードを追加するたびに、Connectが新しいデータをMinitab Model Opsに送る接続を設定することができます。その後、Minitab Model Opsが新しいデータの予測を生成し、それをConnectに返送します。最後に、Connectは新しい予測を元のテーブルに保存します。Minitabモデルオペレーションの詳細については、 [Minitabモデルオペレーション](#) をご覧ください。

注： マッシュアップテーブル、SQLテーブル、または集計関数で準備したテーブルでは接続を作成することはできません。

1. **[フロー]** ツールで新しいフローを作成し、 **[新しいフロー項目]**を追加します。
2. **[タイプ]** ドロップダウンから **[モデルスコアリング(Minitabモデルオペレーション)]**を選択してください。 **[ビュー]** ドロップダウンからビューを選択するか、 **[なし]**を選択します。
3. **[APIキー]**の下にMinitabモデルオペレーションモデルのAPIキーを入力します。Minitab Model OpsでAPIキーを作成する場合、利用可能なスコープは2つあります。 **[モデルを管理]** し、 **[スコアをつけ]**る。Connectに入力するキーには両方のスコープが必要です。
4. モデル **[ドロップダウンから]** Minitab Model Opsから欲しいモデルを選択します。

5. **[モデル変数]**と**[モデル応答]**の項目で、Minitab Model OpsのパラメータとConnectのフィールドを組み合わせます。MTB関連ID、各予測変数、予測応答のフィールドをペアにします。カテゴリカルな応答がある場合は、応答変数の各クラスの予測確率のフィールドもペアリングしてください。パラメータとフィールドをペアリングしない場合、Connectは新しいデータをMinitab Model Opsに送信する際にそのパラメータのデータをテーブルに保存しません。

注： Minitabの各Model Opsパラメータに対応するフィールドがない場合は、**[底]** ツールを使って新しいフィールドをテーブルに追加できます。

6. **[予測タイムスタンプ]**の下に、Minitab Model Ops®のタイムスタンプをConnectテーブル内のフィールドにペアリングします。
7. 新しいレコードをConnectテーブルに入力するたびに接続を実行するには、「手動」ボックスを選択してください。**[タイプ]**ドロップダウンから「**[データイベント]**」を選択します。で**[イベントタイプ]**、を選択します**[レコード挿入時]**。



8. 流れに名前をつけてセーブしましょう。

新しいレコードをテーブルに追加すると、ConnectはそのデータをMinitab Model Opsに送信します。Minitabモデルオペレーションは予測を生成し、それをConnectに返します。Connectは新しい値をテーブルに保存します。

4. カスタムグラフでデータを表示する

Minitab Connect **[視覚化]** ツール折れ線図、棒グラフ、ワードクラウドなど、さまざまな動的なチャートタイプを提供し、データを安全に探索し、可視化を安全に共有できます。

新しいグラフを作成する

この例では、マーケティングアナリストがメールやソーシャルメディアキャンペーンの効果を調査したいと考えています。チームは、顧客が1回目、2回目、または3回目のオファーを受諾した後にデータを収集します。

Minitab Connect 変数間の関係を示すために多くの種類のグラフを提供します。自分の状況に最適なグラフを選びましょう。

スプラインチャートを作成する

この例では、アナリストは最初のメールオファーから日付までのオファー受諾件数のチャートを作成したいと考えています。分析者はスプラインチャートを選択します。スプラインチャートは、データ系列内の点間に曲線を描く折れ線図の一種です。スプラインチャートを使えば、分析者はデータのパターンを特定できます。

1. オンラインダウンロードテーブルを開きます。このテーブルは以前 **既存のデータファイルから Minitab Connect テーブルにデータをインポートする** (5ページ) で作成したものです。

2. 開けて**[視覚化]** ツール .

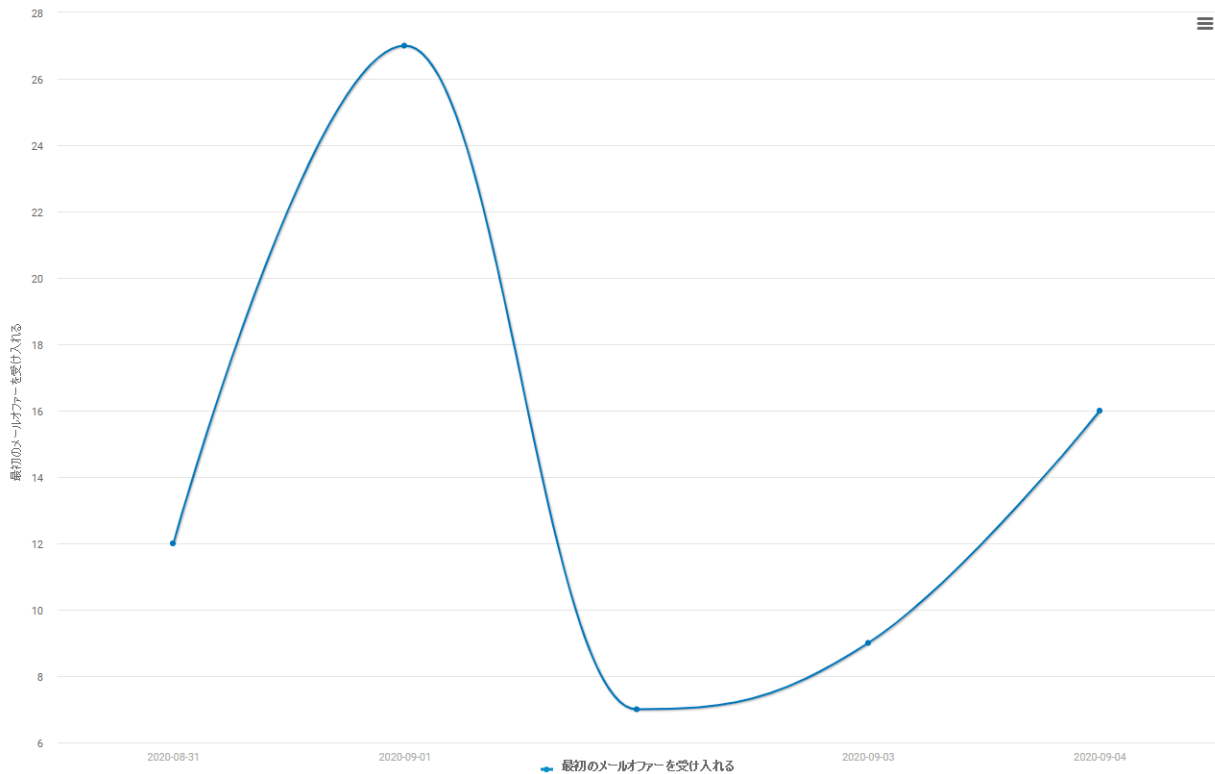
3. 最初のドロップダウンボックスで **[現在の設定]** を選択します。
データソースに特定のビューを使いたい場合は、そのビューを選んでください。

注： 現在の構成選択は、**[準備]** ツールにおけるデータのアクティブビューを表しています 。を選択します**[設定をリセット]**  テーブル内のすべてのデータを **[準備]** ツールで確認できます。

4. で **[タイプ]**、を選択します **[スプライン]**。
5. **[メトリック]** の下で、チャートのy軸に表示するフィールドを指定します。
この例では、最初のメールオファーを受け入れるを選択します。
6. **[次元]** で、x軸に表示するフィールドを指定します。
この例では、購入日を選択します。
7. 選ぶ **[実行]**  チャートを生成するために。
8. 選ぶ **[保存]**  この映像を保存するために。
9. **[ビジュアル]** の **[新しいビジュアル]** を選択し、**[名前]** を入力します。
この例では、Email Offer #1 by Date」と入力してください。
10. **[保存]** を選択します。

メールオファー#1の例

こちらはデータテーブルとの最初の保存済みビジュアルです。



このグラフは、日付別に最初のメールオファーの受諾件数を示しています。

スプラインチャートを修正する

前のセクションでは、アナリストが最初のメールオファーの受諾数を示すグラフを作成しました。Minitab Connect 変数の追加やグラフのカスタマイズができる多くのオプションがあります。アナリストは変数を追加し、スケールのオプションをカスタマイズすることに決めます。

チャートに変数を追加しましょう

この例では、アナリストは2回目と3回目のメールオファーとソーシャルメディアオファーのデータを追加したいと考えています。

1. 以前作成した「Email Offer #1 by Date」グラフを開いてください。詳しくは [新しいグラフを作成する](#)（21ページ）を参照してください。
 - a. **[視覚化]** ツールから **[保存]** タブを開いた。
 - b. **[実行]** をクリックします。● チャートを開くために。

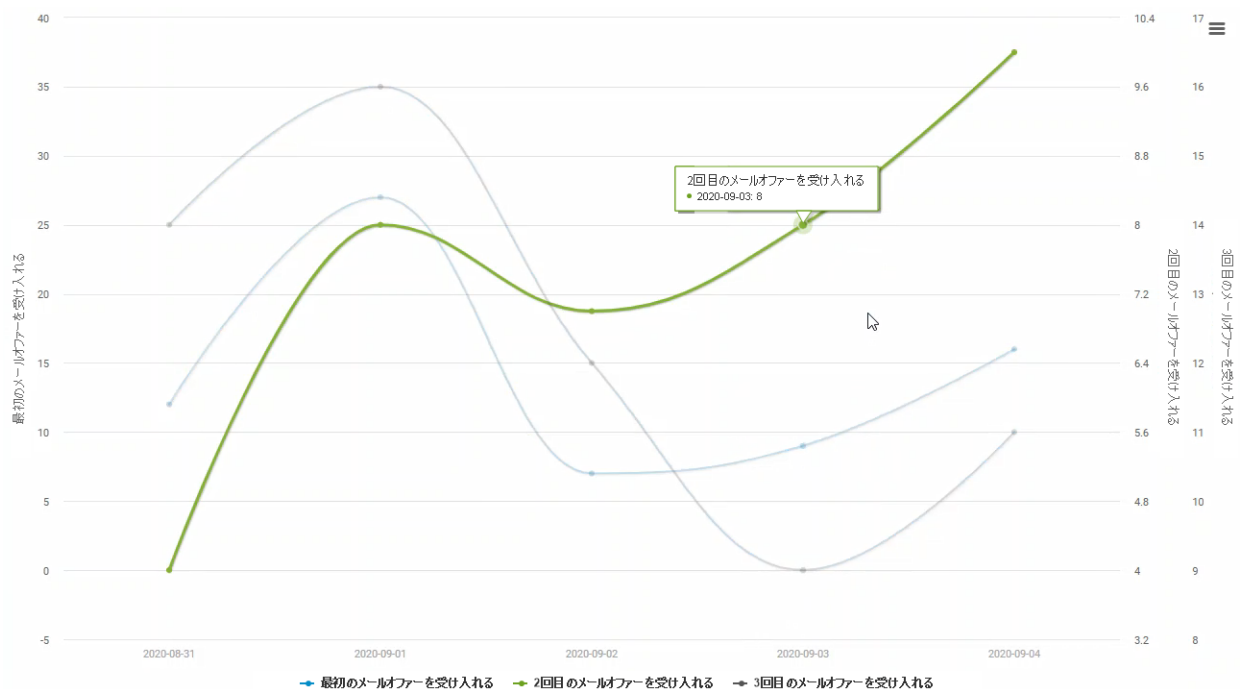


2. **[フィールド]** タブで、**[指標を追加]** を選択します。
3. で **[メトリック]**、 を選択します 2回目のメールオファーを受け入れる。

4. **[指標を追加]**を選択します。
5. で **[メトリック]**、を選択します 3回目のメールオファーを受け入れる。
6. 選ぶ **[実行]**  チャートを生成するために。
7. 選ぶ **[保存]**  この映像を保存するために。
8. **[ビジュアル]**の **[新しいビジュアル]** を選択し、 **[名前]**を入力します。
この例では「日付別のすべてのメールオファー」と入力してください。
9. **[保存]**を選択します。

すべてのメールオファーの例

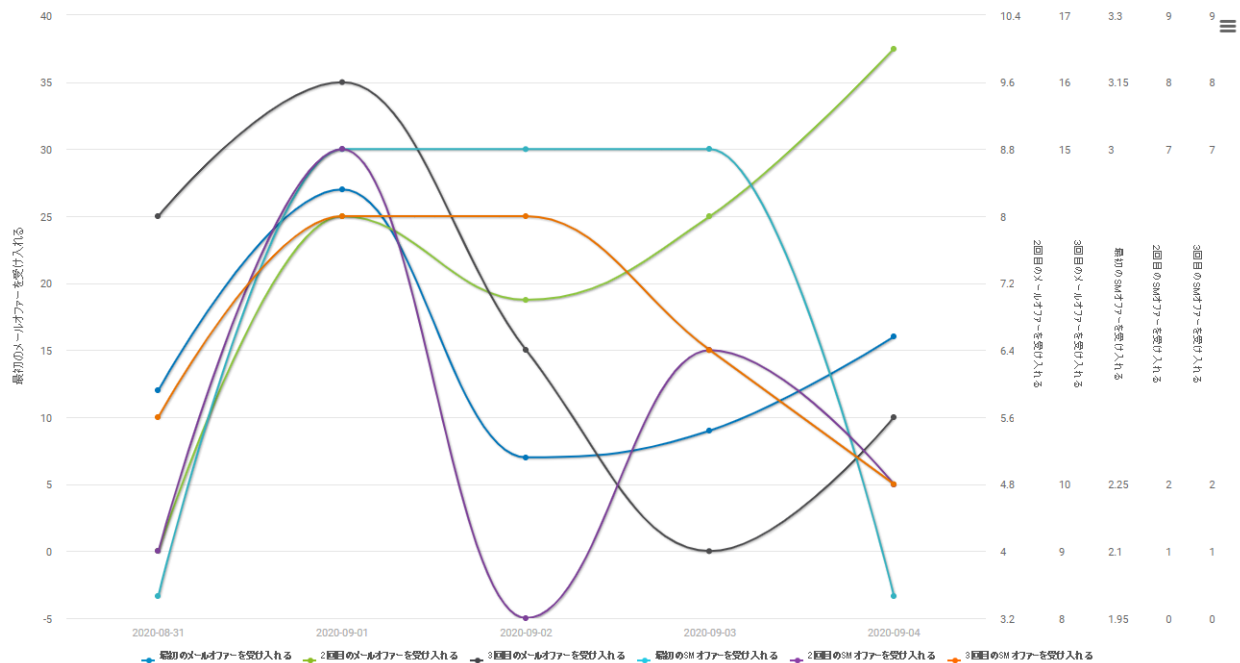
これでデータテーブルに2つの保存済みビジュアルがあります。



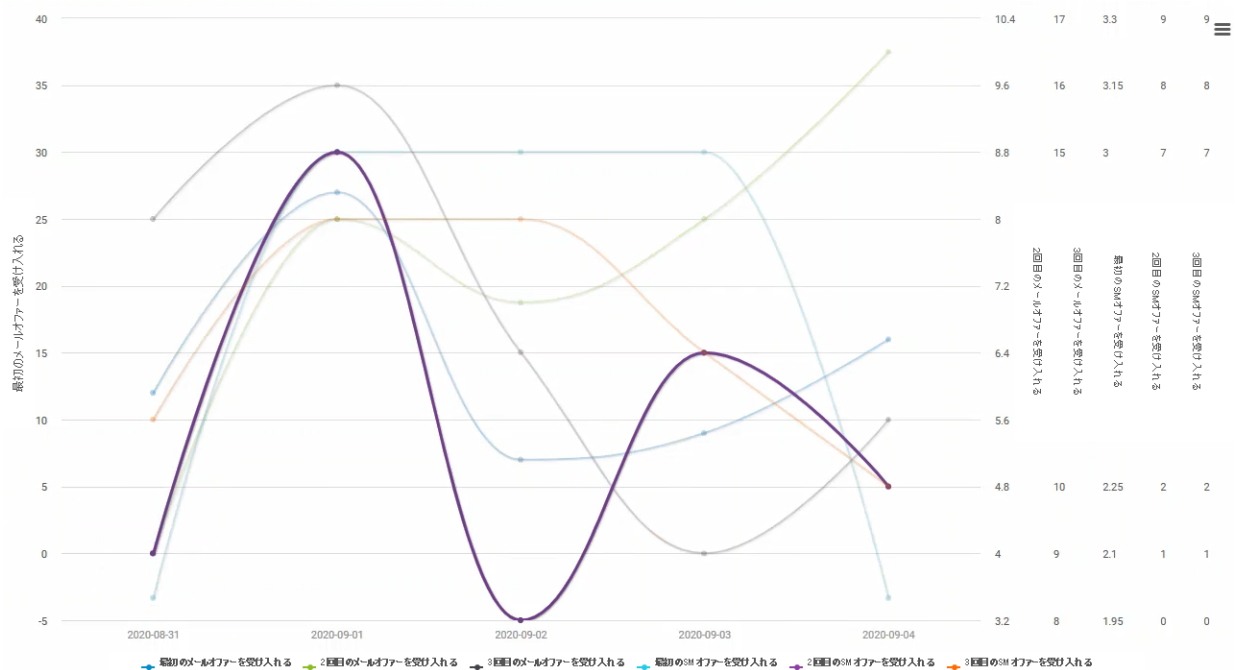
このグラフは、日付別にすべてのメールオファーの受諾件数を示しています。線にカーソルを合わせると、個々のデータポイントを示すデータラベルが見えます。このデータラベルは、9月3日の2回目のメール試行から8件のオファーが受け入れられたことを示しています。

すべてのメールおよびソーシャルメディアのオファーの例

上記の手順を繰り返し、ソーシャルメディアのオファーからのデータを追加してください。最初のSMオファーを受け入れる、2回目のSMオファーを受け入れる、3回目のSMオファーを受け入れるを加えます。



このグラフは、すべてのメールおよびソーシャルメディアオファーの受諾件数を日付別に示しています。

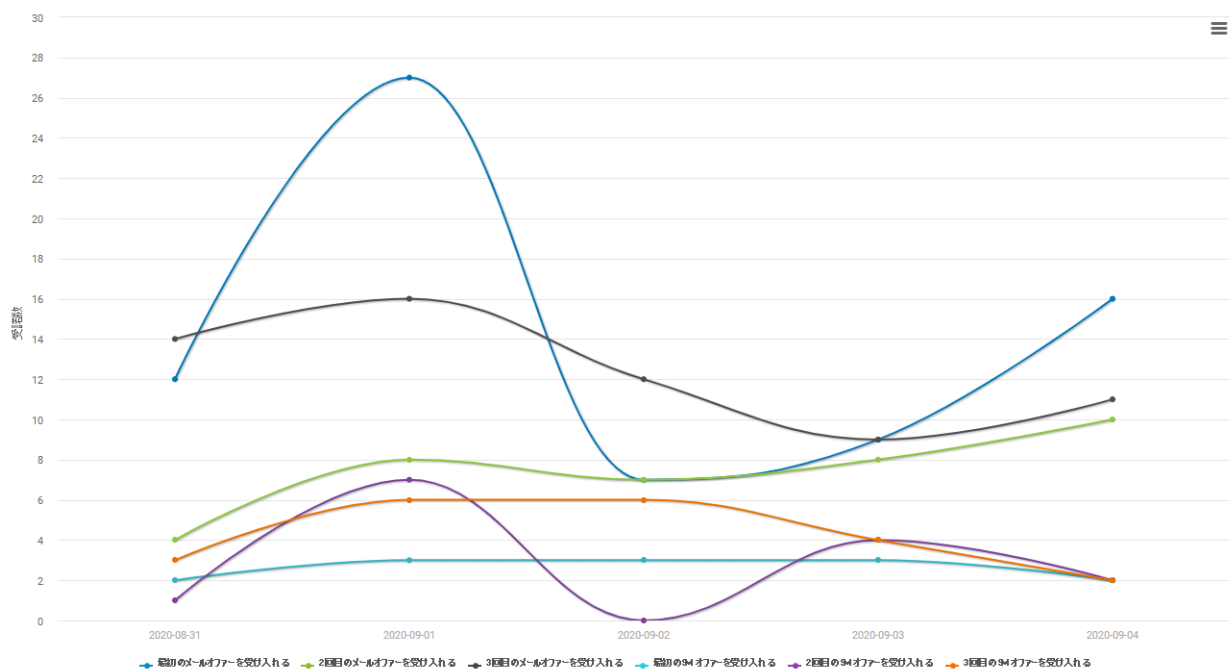


凡例の変数を選択することで、個々の変数を追加または削除できます。また、例文の特定の変数にカーソルを合わせてピントを合わせることもできます。

同じスケールを使って変数を比較してください

前のセクションから、アナリストはすべてのメールおよびソーシャルメディアオファーの受諾数を示すグラフを作成しました。各フィールドには独自のスケールがあることに注目してください。しかし、ほとんどの場合、スケールが同じであれば変数の比較が容易です。同じスケールを使うには、以下の指示に従ってください。

1. **[視覚化]** ツールから **[フィールド]** タブを開いた。
2. を選択 ※最初のメールオファーを受け入れる フィールドの横にあるボタンを押すと、このフィールドの他のオプションにアクセスできます。
3. **[軸ラベル]**の下に Acceptancesと入力してください。
4. を選択 ※ このフィールドのオプションを閉じるために再度ボタンを押します。
5. を選択 ※2回目のメールオファーを受け入れる の横のボタンで **[軸ラベル]**の下に「Acceptances」を入力してください。
6. これらの手順を繰り返して、すべての軸ラベルを 受理に更新します。
7. 選ぶ **[実行]** ● チャートを生成するために。
8. 選ぶ **[保存]** ■ この映像を保存するために。
9. **[ビジュアル]**の **[新しいビジュアル]** を選択し、**[名前]**を入力します。
この例では、 同じスケールでのすべてのオファー」と入力します。
10. **[保存]**を選択します。



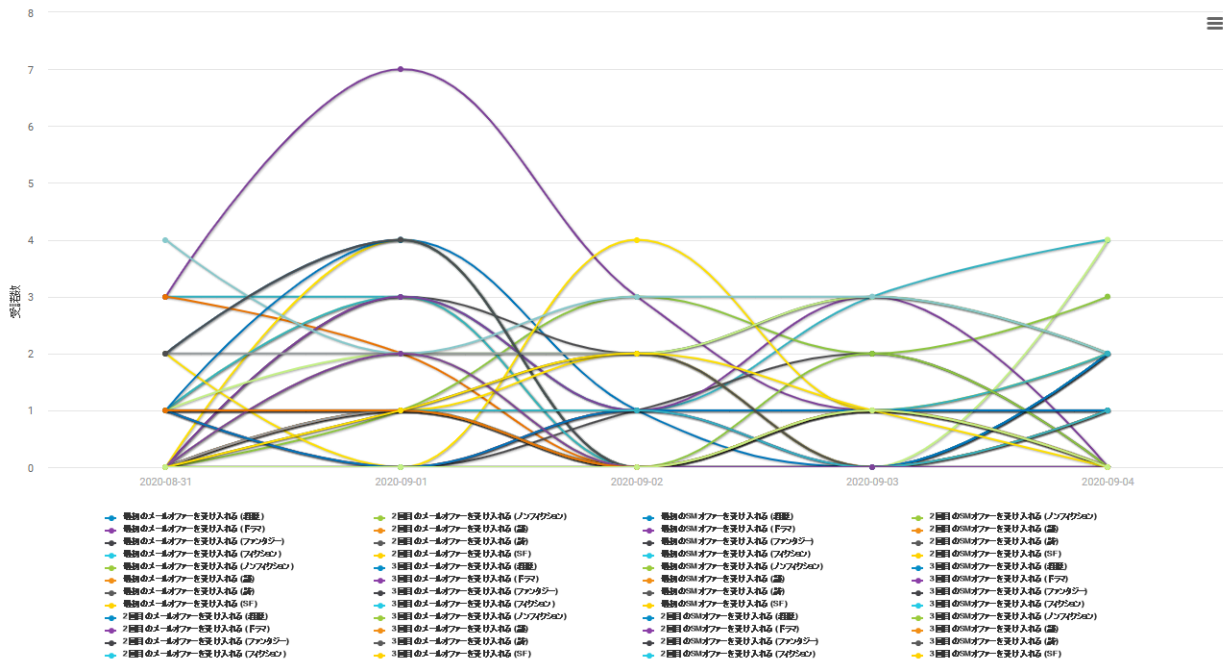
このグラフは、日付別のメールおよびソーシャルメディアオファーの受諾件数を示しており、比較しやすいように同じスケールで示しています。

グラフに内訳を追加してください

前のセクションでは、アナリストが同じスケールですべてのメールおよびソーシャルメディアオファーの受け入れ数を示すグラフを作成しました。ジャンルタイプごとに分類されたデータを分析してみましょう。

1. **[視覚化]** ツールから **[フィールド]** タブを開いた。
2. **[フィールド]** タブで、**[内訳を追加]**を選択します。

3. で **[内訳]**、を選択します ジャンル。
4. 選ぶ **[実行]** ● チャートを生成するために。



このグラフは、日付とジャンル別にすべてのメールおよびソーシャルメディアオファーの受諾件数を示しており、比較しやすいように同じスケールで示しています。

Minitab Connectを使えば、多くの情報を含むグラフを作成できます。次に、さまざまなグラフの選択肢を探っていきます。

グラフオプションの利用

前回のセクションでは、アナリストがすべてのジャンルタイプのメールおよびソーシャルメディアオファーの受諾件数を示すスプラインチャートを作成しました。スプラインチャートは有用ですが、分析者は他のチャートタイプを探求したいと考えています。

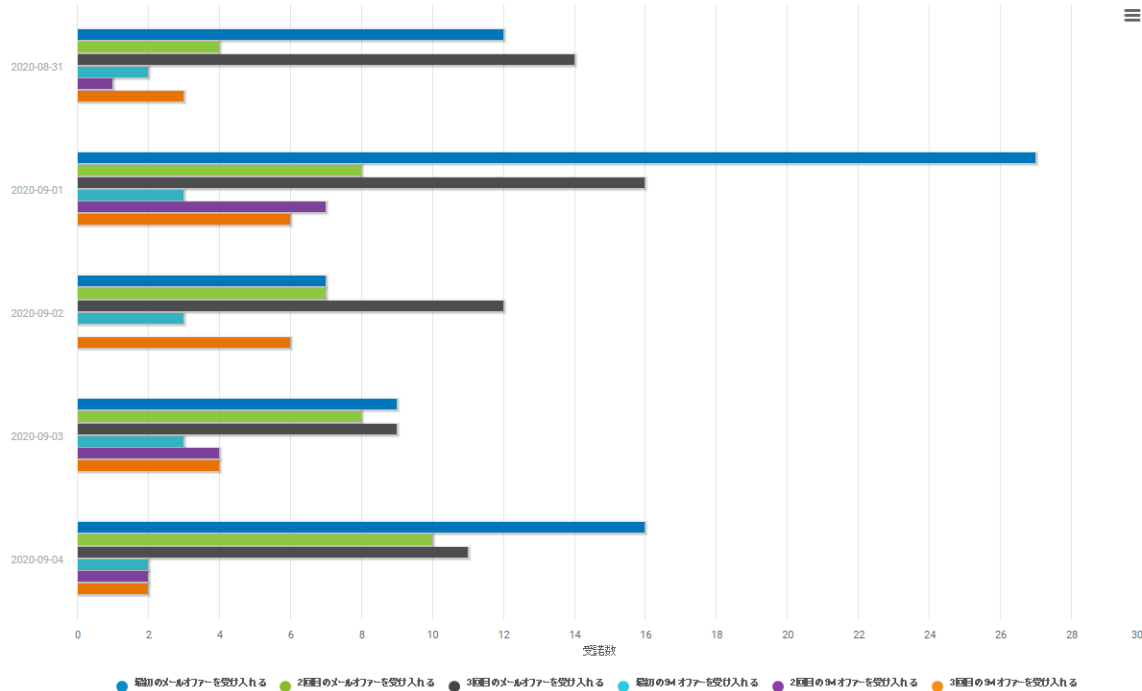
グラフの種類を変更する

以下の指示に従って、チャートタイプを棒グラフに変更してください。

1. **[視覚化]** ツールから **[保存]** タブを開いた。
2. 以前作成した「同じスケールのすべてのオファー」グラフを開きます。詳しくは [同じスケールを使って変数を比較してください](#) (24ページ) を参照してください。
3. 選ぶ **[実行]** ● チャートを生成するために。
4. **[フィールド]** タブを開いてください。
5. **[タイプ]** の「**[棒]**」を選択して棒グラフを作成します。
他のチャートタイプを調べて、自分の用途に最も合うものを見つけてください。
6. 選ぶ **[実行]** ● チャートを生成するために。

7. 選ぶ **[保存]** この映像を保存するために。
8. **[ビジュアル]**の **[新しいビジュアル]** を選択し、**[名前]**を入力します。
この例では、「同じスケールのバーチャート上のすべてのオファー」を入力してください。
9. **[保存]**を選択します。

スプラインチャートと同様に、この棒グラフも日付別にすべてのメールおよびソーシャルメディアオファーの受諾件数を示しています。



アナリストはこのチャートを使って、メールとソーシャルメディアのオファーの受諾件数を簡単に比較します。

高度なオプションを使ってください

[オプション] タブのグラフオプションを自由に探索してください。各グラフタイプには、凡例の配置、最小・最大スケールの表示、色など複数のオプションがあります。

ビューを使って、データのサブセットを含むグラフを作成します

Minitab Connect を使えば、簡単にデータをサブセット化できます。アナリストは一部のデータに対してオプションをカスタマイズしたいと考えています。

データに対してフィルター付きのデータビューを作成します

前回のセクションでは、アナリストがすべてのジャンルタイプのメールおよびソーシャルメディアオファーの受け入れ件数を示すグラフを作成しました。ミステリーブック部門のマネージャーは、ミステリー選出品のみに対するオファー応答率を調査するためのカスタムグラフを求めています。まず、Mysteryのフィルターを使ってビューを作成します。

1. より**[準備]** ツール **[フィルター]** タブを開いた。

2. **[フィルターを追加]** 欄から選択し、ジャンルを選択します。
 - a. 次の式フィールドで「Equal」を選択します。
 - b. 最後の欄に 謎を入力します。

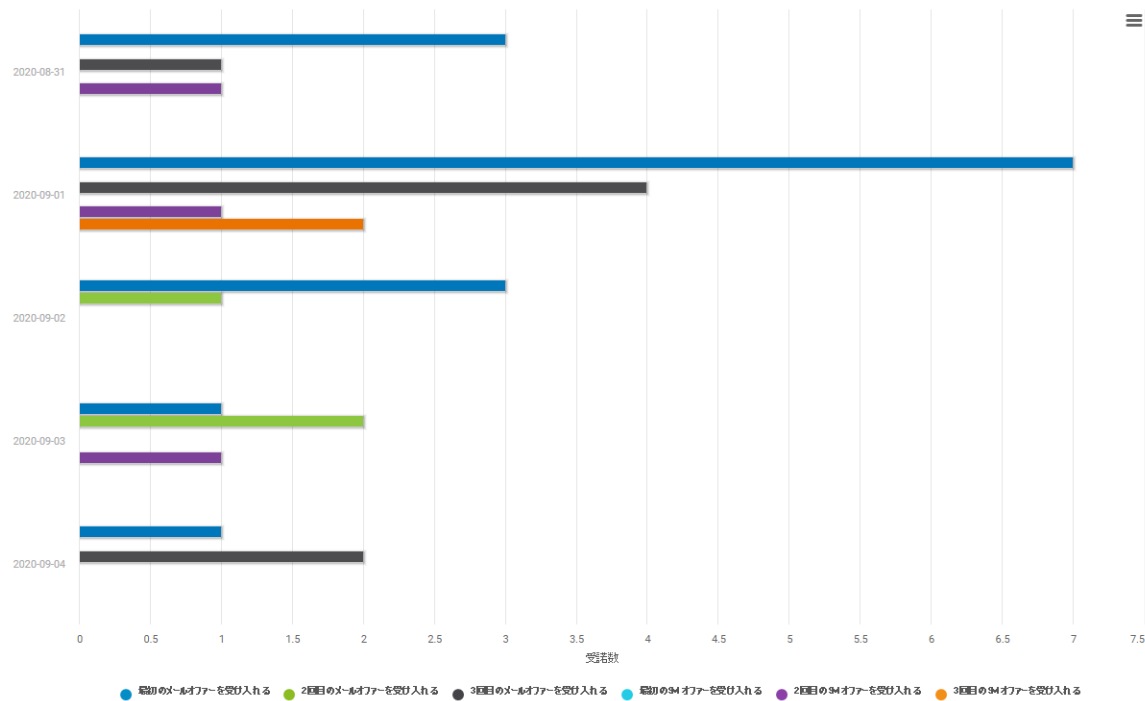


3. 選ぶ **[実行]** データをフィルタリングするために。
4. 選ぶ **[保存]** この景色を保存するために。
5. **[ビュー]** の **[新しいビュー]** を選択し、**[名前]**を入力します。
この例では ミステリーオファーを入力します。
6. **[保存]**を選択します。

保存済みのビューを使ってチャートを作成します

前のセクション [グラフの種類を変更する](#) (26ページ) では、アナリストがすべてのメールオファーとすべてのソーシャルメディアオファーの受諾件数を同じスケールで示したグラフを持っています。このグラフも再現できますが、今回はミステリー本の購入数のみに焦点を当てています。

1. 開けて**[視覚化]** ツール .
2. **[フィールド]** タブで最初のドロップダウンを **[現在の設定]** から **[ミステリーオファー]**に変更してください。
3. 選ぶ **[実行]** チャートを生成するために。
4. 選ぶ **[保存]** この映像を保存するために。
5. **[ビジュアル]** の **[新しいビジュアル]** を選択し、**[名前]**を入力します。
この例では、 同じスケールのミステリーオファーを入力します。



このグラフは、ミステリー書籍購入に関するすべてのメールおよびソーシャルメディアオファーの受諾件数を、同じスケールで比較しやすい日付で示しています。

5. ダッシュボードでデータをインポートして共有する

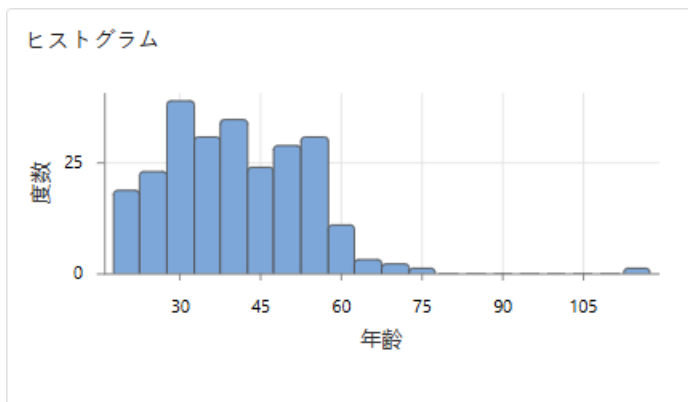
ダッシュボードは、積極的なデータ監視のための強力なリソースを提供します。カスタムダッシュボードは組織内外の誰とでも共有できます。ダッシュボードではグラフやビジュアライゼーションを作成し、簡単にサイズ変更や位置変更が可能です。

ダッシュボードを作成する

この例では、マーケティングアナリストが顧客の年齢を調査したいと考えています。分析者は年齢の分布を示すヒストグラムを追加したいと考えています。

1. **[ホーム]** 画面より 、**[Minitab Connect]** ボタンを選んでください  **[ナビゲーション]** のガラスを開けるために、で **[ダッシュボード]**、を選択します **[新しいダッシュボードを追加]**。
または **[ホーム]** 画面から **[ダッシュボード]** の **[追加]** ボタンを選択します。
2. **[データを追加]** を選択します。
3. 保存されたデータビューを含む **[フォルダ]** と **[テーブル]** を選択します。次に、**[データ表示]** を選択し、「**[オンラインダウンロード]**」を選択します。
4. **[オープンビュー]** を選択してください。
5. **[アセット]** アイコンを選択してください  ダブルクリック **[ヒストグラム]**。
6. **[開く]** を選択します。
7. **[連続変数]** 年に登場します。
8. **[作成]** を選択します。

ダッシュボードにはヒストグラムが表示されます。



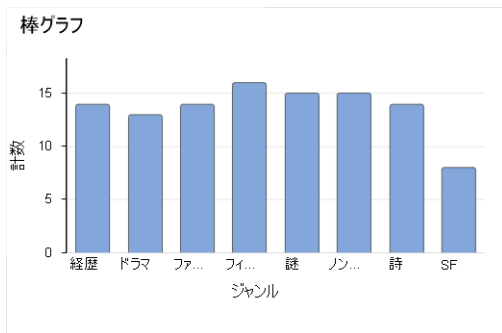
ヒストグラムは100年以上の年齢を示しています。この異常値がアナリストに警告を与え、アナリストは誤ったデータポイントの原因を調査することになります。

ダッシュボードにスライサーを追加しましょう

ダッシュボードにスライサーを追加して、テーブル内でそのフィルターを使って新しいビューを作成する代わりに、数の範囲や日付範囲、カテゴリのセットを簡単に絞り込むことができます。

この例では、マーケティングアナリストは自分の上司が40歳から60歳の顧客に関心を持っていることを知っています。アナリストは、顧客がジャンルごとに購入する本数を示す棒グラフを作成します。その後、アナリストはダッシュボードに40歳から60歳の顧客のみを表示するスライサーを追加します。

1. **[アセット]** アイコンを選択してください  ダブルクリック **[棒グラフ]**。
2. **[開く]** を選択します。
3. **[カテゴリ(分類)変数]** がジャンルの登場です。
4. **[作成]** を選択します。チャートを展開すると、y軸のスケールがよりよく見えます。
5. **[アセット]** アイコンを選択してください  **[管理]** の下でダブルクリック **[数値範囲スライサー]**。
6. **[数値範囲スライサー]** の画面で **[1つまたは複数の変数を選択]** の下から 年齢を選択します。
7. 数値の範囲では、下端点に40、上端点に60を入力してください。



各ダッシュボードアセットは40歳から60歳の顧客のデータのみを表示します。アナリストによると、このグループは各ジャンルで13~16冊の本を購入しており、SFは8本しか購入していません。

ダッシュボードを共有する

組織内外の誰とでも共有するためのユニークなURLを簡単に作成できます。この例では、アナリストがダッシュボードを上司と共有します。

1. 省略記号を選択します  をクリックし、**[保存]** を選択します。
2. **[ダッシュボード名]** の下に「オンラインダウンロードダッシュボードを入力してください。
3. フォルダを選択して **[保存]** を選択します。 **[編集]** モードに戻れ。
4. 省略記号を選択します  をクリックし、**[共有]** を選択します。ダイアログにはビュー専用のダッシュボードを表示する2つのリンクが表示されます。Connectのサブスクリプションを持っている誰とでも **[内部リンク]** を共有できます。ConnectはURLに制限されたapikeyを付けているため、Connectのログインがなくても誰とでも **[公開リンク]** を共有できます。

注: 役割 **[管理者]** と **[開発者]** の役割を持つユーザーだけが共有 **[公開リンク]**。

5. クリップボードにリンクをコピーし、**[OK]** を選択します。このリンクを誰にでも共有でき、ダッシュボードを閲覧できるようにできます。

索引

M

Minitab Statistical Software 18

い

インポートデータ 5, 18
スケジュール頻度 15

え

エクスポート
Minitabワークシート 18
その他のフォーマット 18
データ 8, 18
メール経由 9

く

グラフ
グラフの種類を変更する 26
グラフ内訳の追加 25
スプラインチャートの作成 21
同じスケールを使う 24
変数を増やす 22
保存済み表示 28
グラフオプション 26
詳細設定 27

こ

コネクター 14
データベースに接続 14
定期放送頻度 15

さ

サンプルデータセット 4, 6

し

システムフィールド 7

す

スケジュールデータインポート 15
スプラインチャート 21

つ

ツール 3

て

データビュー
慣習 5
データフィルターを追加 27
データフロー 16
スケジュールの修正 16
新しい流れを加える 17
テーブルにデータを追加 12

ふ

フィルター 27
フォーム(ベース)ツール 14
フォームツール 13
フローツール 3, 16, 17

へ

ベースツール 3, 11

り

リセット構成 5, 6, 16, 21

Minitab Our mission is to help people discover valuable insights in their data.

Minitab helps companies and institutions to spot trends, solve problems and discover valuable insights in data by delivering a comprehensive and best-in-class suite of data analysis and process improvement tools. Combined with unparalleled ease-of-use, Minitab makes it simpler than ever to get deep insights from data. Plus, a team of highly trained data analytic experts ensure that users get the most out of their analysis, enabling them to make better, faster and more accurate decisions.

For nearly 50 years, Minitab has helped organizations drive cost containment, enhance quality, boost customer satisfaction and increase effectiveness. Thousands of businesses and institutions worldwide use our products to uncover flaws in their processes and improve them. Unlock the value of your data with Minitab.

Automation and Reporting



Minitab Connect®

Integrate and transform data for analysis, reporting and monitoring

Data Analysis & Predictive Modeling



Minitab®

Powerful statistical software everyone can use



SPM®

Machine Learning and Predictive analytics software

Model Deployment and Monitoring



Minitab Model Ops®

Model lifecycle management on a simple yet powerful platform

Visual Business Tools



Minitab Workspace®

Visual tools to ensure process and product excellence

Project Ideation & Execution



Minitab Engage®

Start, track, manage, and execute innovation and improvement initiatives

Self-paced Learning



Education Hub™

Master statistics and Minitab anywhere with online training

Quality Solutions



Real-Time SPC™

Monitor, respond, and deliver immediate quality and process monitoring

© 2026 Minitab, LLC. All rights reserved.

© 2026 Minitab, LLC. All rights reserved. Minitab®, Minitab Connect®, Minitab Model Ops®, Minitab Engage®, Minitab Workspace®, Minitab Simul8®, Salford Predictive Modeler®, SPM®, and the Minitab® logo are all registered trademarks of Minitab, LLC, in the United States and other countries. Additional trademarks of Minitab, LLC can be found at www.minitab.com. All other marks referenced remain the property of their respective owners.